設計図書に対する質問回答(令和7年1月21日公告分)

	業 務	名	下水道管渠点検調査(その7)業務委託			
1	質	問	管渠およびマンホールの点検項目については、細分化や項目の追加等の提案は可能でしょうか。 【共通仕様書P.7】			
	回	答	点検項目について、ご提案いただくことは可能です。その提案内容については、別途 市監督員と協議を行います。			
2	質	問	点検記録表は、例の点検項目を網羅していれば提案は可能でしょうか。 【共通仕様書P.8】			
	回	答	点検記録表について、点検項目も含めてご提案いただくことは可能です。その提案内容については、別途市監督員と協議を行います。			
3	質	問	管ロカメラに必要な機器性能を提示いただいていますが、同等以上であれば承認いただけますでしょうか。また、ズーム機能は共通・特記仕様書に使用内容が無いため、考慮しなくてもよろしいでしょうか。 【共通仕様書P.1~12、特記仕様書P.1~6】			
	回	答	本業務に使用する管口カメラの機器性能については、ズーム機能を含め共通仕様書のP.9表4に記載しているとおりです。			
	質	問	二見人工島での作業においては、作業時間や方法に誓約がありますでしょうか。 【特記仕様書P.6】			
4	回	答	他地域と同様に扱うものとします。また、業務中に制約が発生してしまった場合は、随時協議を行い決定します。			
5	質	問	工期についてですが、同種業務にてこれまでに国庫補助金事業の繰越承認等が出来なかった事例はありますでしょうか。 【特記仕様書P.1】			
	回	答	現在把握している限り、そのような事例はありません。			
	以下質問はありません。					

	業務	名	選挙管理標準準拠システム構築等業務委託		
1	質	問	スケジュールについて質問いたします。貴市住基ベンダ様が令和8年度以降の本稼働と伺っています。その場合、住基ベンダ様提供の過渡期連携ツールにて、名簿管理システムと連携を行うこととなると思いますが、仕様書に記載の令和8年1月に選挙システム本稼働を実現するためには、名簿システムのデータ移行、連携テストを遅くとも令和7年9月頃には、住基ベンダ様からのデータ提供、現行名簿システムでの定期登録抄本の突き合わせ等を実施する必要があります。過渡期連携ツールの提供時期によっては、選挙システムの納期が間に合わない可能性もございます。多くの自治体様では、住基システム稼働に合わせて、選挙システムを稼働させるケースが多く、住基システム標準化対応時に連携テストを再度実施するといった作業付加も懸念されます。他システムが要因で納期遅延する可能性がございますので、正式契約時に、本稼働条件や納期を調整させて頂くことは可能でしょうか。【仕様書P.2 第8節スケジュール】		
	回	答	 ・過渡期連携ツールの提供時期は現時点で未定となっております。 ・移行データの提供時期については、令和7年9月頃までに対応できる見込みです。 ・住基システム標準化対応時に行う連携テストは本契約の対象外となります。 ・正式契約時に本稼働条件や納期の調整はしませんが、他システムが要因で遅延する場合は、納期などを協議させていただきます。 		
以下質問はありません。					